



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三四六号〕

りっか  
立夏

五月五日

## 御師制度廃止一五〇年

今年、伊勢の御師制度が明治四年（一八七一）に廃止されてから一五〇年の節目を迎えます。

御師は一般的には「おし」といいますが、伊勢では「おんし」と読むのが習わしです。御祈祷師がつづまったものとされ、全国から伊勢講を組んでお伊勢参りに来る人々を自身の邸宅に宿泊させ、祈祷を行ったり、内宮や外宮などを案内したり、参拝者のおもてなしを行いました。お伊勢参りが盛んになるにつれ、伊勢の御師の数は増え、江戸時代中期には八百軒にも上ります。

しかし、明治という新たな時代を迎えると、伊勢神宮もさまざまに改革がなされ、伊勢の御師も制度として廃止されてしまうのです。お伊勢参りの隆盛を作った御師たちはやむなく旅館業などに職替えをしたり、また伊勢の地を離れたり、その存在は薄くなっていきました。

今年、廃止一五〇年を記念した「伊勢の御師フォーラム2021」が伊勢市内各所で開かれます。私もフォーラムに先掛けて募集された懸賞論文の審査員をさせていただきました。今回は伊勢の文化的風土、町作りを果たした御師の功績を検証し、価値の再考を行ない、今度の町作りや人作りにつながる先進的な研究・提案を募るというものでしたが、さまざまな視点からの論文に改めて、全国津々浦々まで伊勢講というお伊勢参りのグループが作られていたことや、さまざまな身分の参拝者を受け入れることについての苦労や工夫など、御師の一人ひとりが浮かび上がるように感じました。今日のようなコロナ禍であれば、伊勢の御師はどうしたのだろうか・・・お知恵を拝借したいものだと思う次第。五十鈴塾でも六月から講演などが開かれますので、足を運ばれてはいかがでしょうか。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『おかげ横丁 風の市』

春から夏へ移り変わる頃、時折吹く風に青葉の匂いを感じます。伊勢神宮では、風の神様に五穀豊穡をお祈りする「風日祈祭(かざひのみさい)」が5月14日に執り行われます。これに合わせ、おかげ横丁では、伊勢の爽やかな風を感じていただく「風の市」を開催いたします。

と き／5月14日(金)～5月23日(日) 10:00～17:00

ところ／おかげ横丁一帯

※催しによって開催日時が異なるものもございます。

#### ● 風鈴の市

種類さまざまな風鈴を展示販売いたします。おかげ横丁に響き渡る涼しげな音色をお楽しみください。

日時：5月14(金)～5月23日(日) 10:00～17:00

場所：赤福別店舗側特設屋台

#### ● 夏の風物市

団扇や風鈴、手ぬぐいなど、夏を快適に楽しく過ごす昔ながらの暮らしの道具が揃います。

日時：5月13日(木)～6月6日(日) 9:30～17:30

場所：赤福別店舗

#### ● 幟旗の展示(同時開催)

江戸から明治期にかけての長さ約2mから7mまでの貴重な幟旗、約30点がずらっと並びます。

日時：4月29日(木・祝)～5月23日(日) 10:00～17:00

場所：伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

伊勢神宮には、風の神様を祀る別宮があります。内宮は風日祈宮(かざひのみのみや)、外宮は風宮(かぜのみや)。どちらも級長津彦命(しなつひこのみこと)と級長戸辺命(しなどべのみこと)という男女の風神を祀ります。これらの別宮は、鎌倉時代に二度来襲した元寇(げんこう)の際、神風をお越し撃退したとされ、その功績として宮号が下り、風社(かぜやしろ)から今の別宮となりました。

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○『伊勢西国三十三所～もう一つのお伊勢参り～』

文化庁の日本博事業の一つに選ばれた「伊勢西国三十三所観音巡礼」。伊勢国の観音巡礼は、伊勢神宮周辺から多度大社周辺まで、街道沿いに点在する「観音さま」のお寺39ヶ寺を巡ります。3回目は、伊勢やその周辺部から離れ、いよいよ雲出川を渡り津へ。

かつて、安濃津の港で栄え藤堂藩が治めた城下町。

ここにはどんな観音さまがまつられているのでしょうか。また伊勢神宮との関わりはあるのでしょうか。

と き／5月17日(月) 13:30～15:00

講師／千種 清美(文筆家・皇學館大学非常勤講師)

参加費／一般1,350円 会員850円

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

## 五十鈴茶屋

### ○ 節気菓子

#### ナンジャモンジャ

外宮・勾玉池のほとりに咲くヒトツバタゴの木。別名をナンジャモンジャといい、緑と白のコントラストがみごとです。白く細やかな花々を山芋を使ったきんとんで表現しました。

じんぐう ばら

#### 神宮の薔薇

神宮会館が建つ丘は、雪の如く咲く花に例えて「如雪園」と呼ばれていました。今では百五十種四百五十株の花々が美しい「神宮ばら園」となっています。

葛寒天を花びらにし、白あんを包んだばらの姿をお楽しみ下さい。

す

#### 菓つばめ

五十鈴茶屋の辺りでは、今年も軒先に燕が巣を設けます。黄色のくちばしを広げ、親燕の帰りを待つ赤ちゃん燕。そんな風景を、お菓子のかたちに写し取りました。

菓は道明寺と黒糖羊羹。可愛いくちばしはレモンです。